

- 罾での捕獲をメールでお知らせ。
- 日々の見回りサポート、捕獲情報を敏速に把握してジビエ活用、捕獲準備を整える事で捕獲個体による逆襲リスクを回避。
- 親子型は子機10基まで監視。罾の設置場所が携帯通信の圏外でも親機を通信可能場所に設置でOK。

企業概要

◇(株)エフ・アンド・オー・システムズ(開発・製造)
長野県安曇野市
0263-72-8288
・電子応用機器設計・開発・製造
マイコン/PCソフトウェア

◇オール電子(販売)

長野県大町市
0261-85-0811
・電子応用機器の製造
・鳥獣被害対策のコンサル、対策機器の販売

機器情報

機器の概要

◇捕獲をメール(SMS)で通知

- ・単独機はダイレクトに通知(罾1基に対応)
- ・親子型は10基(最大)の罾に対応、特定小電力超長距離LoRa[®]無線で親機を中継して通知。
- ・アルカリ乾電池で親機は約4か月、子機は約12か月、単独機は約10か月動作します。
(電池残量の低下もメールで送信します)

使用目的

- ・有害捕獲、狩猟での各種罾の捕獲通知

対象獣種

イ/シシ、シカ

特徴

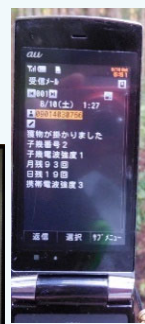
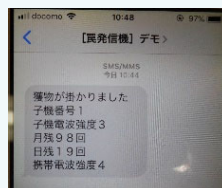
- ・親子型の通信距離が大幅に改善されました！
→障害物がなければ数キロ
→山中でも尾根越えで1Kmは通信可能

活用技術

◇ NTTドコモ対応の通信モジュールを活用してSMS通信

◇ 親子型は、親機・子機の通信に特定小電力超長距離LoRa[®]無線モデムを活用、通信距離を大幅に改善

通知画面→



導入実績

導入市町村

- ・長野県内、市町村や森林管理局
 - ・北海道小樽市 ・京都府笠置町 ・滋賀県甲賀市
 - ・滋賀県高島市 ・神奈川県葉山町
 - ・三重県大台町
 - ・徳島県立農林水産総合センター など
- 平成25年10月から全国に納入の実績！

※FOMA通信使用の従来機は2026年で通信終了しますが、「メールでハンターワイド」は
・NTTドコモLTE対応の通信モジュールを搭載し、
・親子型は無線モデムも更新した新機種です

導入効果

- ・事前に捕獲情報が把握できるので、止め刺しの用意や食肉加工へのアプローチが敏速である。

イニシャルコスト、ランニングコスト

イニシャルコスト

単独機: ￥51,400
親子型・親機: ￥65,500 子機: ￥33,500

ランニングコスト

通信費 単独機: ￥13,000/年
親子型: ￥14,000/年

※いずれの価格も税別

罾の単独機



罾の親子型・子機